



2023年10月期

## 決算説明会

2023年12月8日

トビラシステムズ株式会社（東証スタンダード 4441）

## 目次

1. 決算ハイライト、事業概要
2. 2023年10月期 第4四半期トピック
3. 2023年10月期 業績
4. 2024年10月期 見通し
5. サステナビリティレポート

# 01 | 決算ハイライト、事業概要

## 2023年10月期 決算ハイライト

売上高

2,061百万円

前年同期比  
122.6%

営業利益

682百万円

前年同期比  
126.3%

モバイル向け

売上高

1,490百万円

前年同期比 117.2%

- 2022年10月に締結した「固定契約」モデルの新規契約による増加、2023年4月から「契約者×単価」モデルの契約更改（単価アップ）、280blockerの売上増加が寄与し117.2%の成長

固定電話向け

売上高

193百万円

前年同期比 117.0%

- KDDIのケーブルプラス電話向けオプションサービスの利用者増加により、117.0%の成長

ビジネスフォン向け

売上高

330百万円

前年同期比 179.6%

- トビラフォン Bizの販売台数増加や、トビラフォン Cloud の利用者数の増加により、ビジネスフォン向けフィルターサービスにおいて過去最高の売上高を更新

# 私たちが目指す世界

企業理念・行動指針

私たちの生活 私たちの世界を  
よりよい未来につなぐトビラになる

テクノロジーで社会課題の解決に挑みます

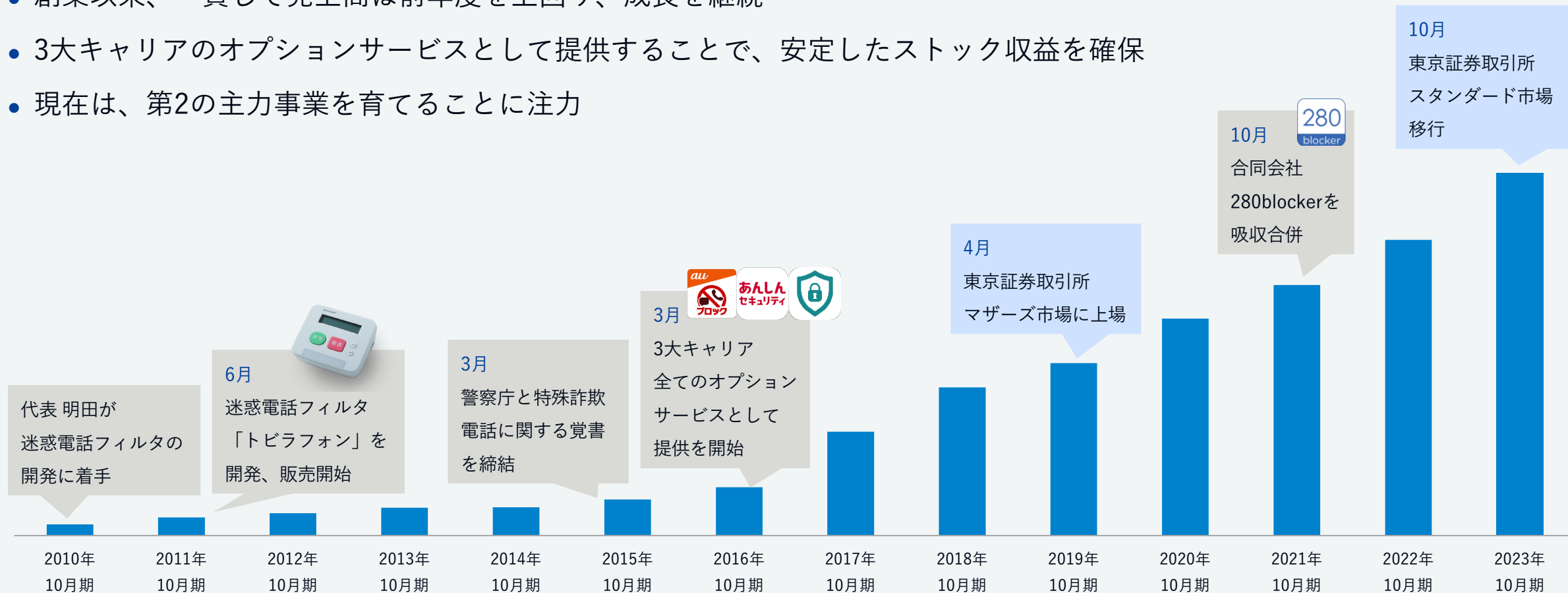
私たちは素晴らしい未来を想像し、失敗を恐れず変化を続け、常識を疑いあるべき形を追求します。

社会的課題を解決する、人々の役に立つ製品を次々に生み出し、持続的かつ発展的に成長するため適切な利益を得ます。

自分と大切な人が幸せな時間を送れる環境であり続けることが、私たちの成長や世界中の人々の生活の向上につながっていきます。

## これまでのトビラシステムズの成長の軌跡

- 創業以来、一貫して売上高は前年度を上回り、成長を継続
- 3大キャリアのオプションサービスとして提供することで、安定したストック収益を確保
- 現在は、第2の主力事業を育てることに注力



脚注：棒グラフは当社の売上高

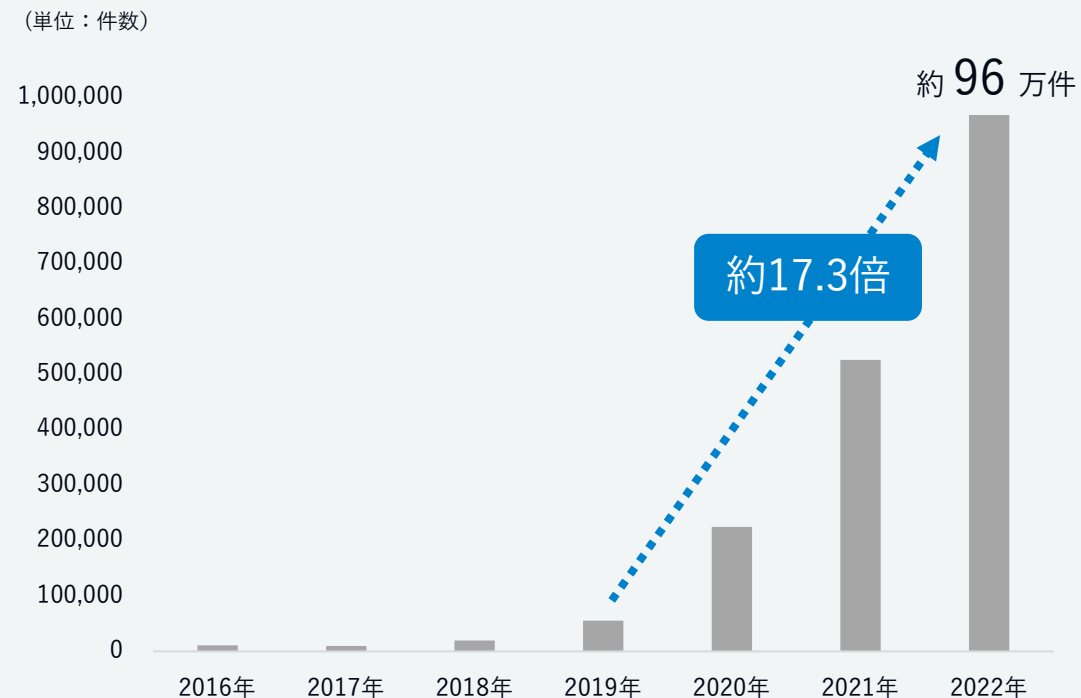
# 取り巻く社会課題の状況

- 特殊詐欺の被害状況は増加傾向にあり、フィッシング報告件数も近年では大幅に増加している状況

特殊詐欺被害状況の推移\*1



フィッシング詐欺の推移\*2



\*1：警察庁「令和4年における特殊詐欺の認知・検挙状況等について（確定版）」

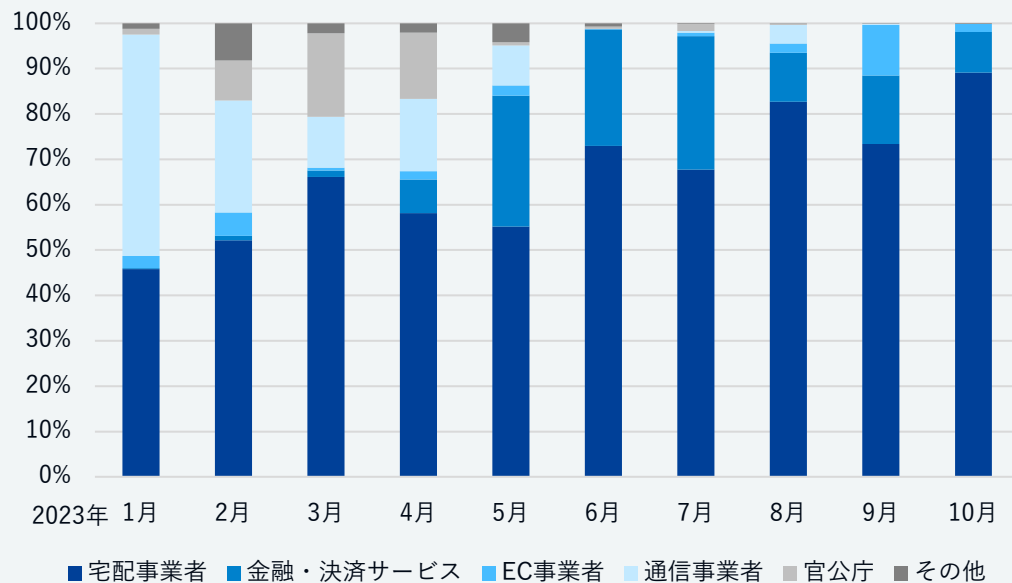
\*2：フィッシング対策協議会 月次報告書 (<https://www.antiphishing.jp/report/monthly/>)

## — 独自調査による、社会課題の直近動向\*

- 当社では、フィッシング詐欺SMSについて継続的に調査を行っており、2023年10月のフィッシング詐欺SMSの種別割合は、宅配事業者をかたるフィッシング詐欺が約9割であった
- フィッシング詐欺SMSは、実在する企業等を装った文面を用いることがあり、文面は日々変化する

フィッシング詐欺SMS 種別割合

- 1月は通信事業者をかたる詐欺SMSが大きな割合を占めたが、10月は宅配事業者をかたる詐欺SMSの割合が最大となっている



フィッシング詐欺SMSの文面例

- 実在する企業やブランドなどを装い、身近に感じさせるSMSが多い
- URLや送信元でフィッシング詐欺だと見分けることは難しい

ご不在により、お荷物は当社センターに保管しています。<https://t.co/██████████>

お客様が不在の為お荷物を持ち帰りました。こちらにてご確認ください。

<https://t.co/██████████>

「イオン銀行」お客様の口座現在ご利用を制限しております。再開には手続きが必要です。<https://██████████aeonwq██████████>

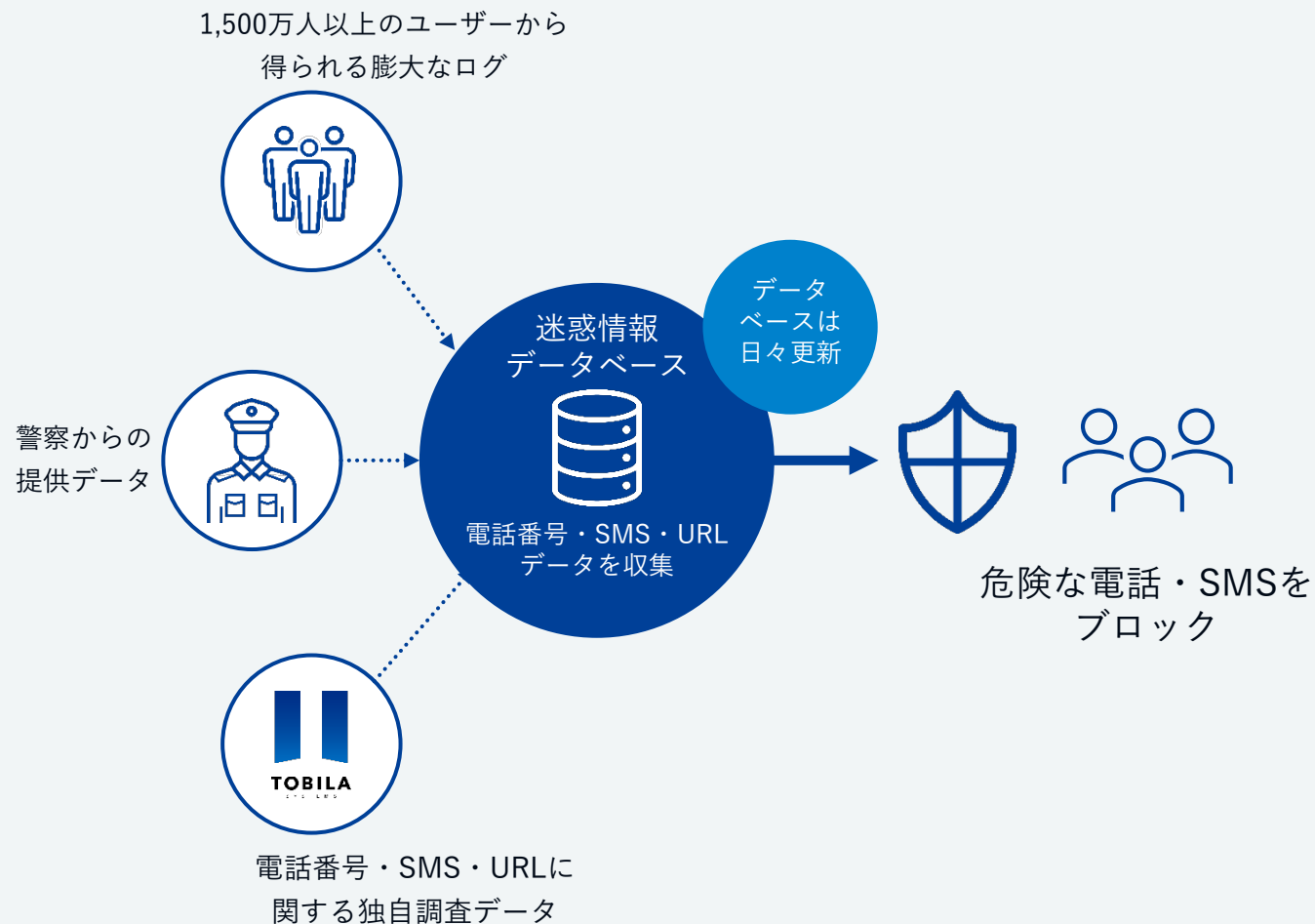
【三菱UFJ銀行】お知らせ、お客様の銀行口座の取引を一時的に規制しています、必ずご確認ください。<https://mufggqv██████████>

\*: プレスリリース「トピラステムズ 特殊詐欺・フィッシング詐欺に関するレポート (2023年10月)」



## — 迷惑情報データベースの強み

- 危険な電話番号・SMSに記載されているURL等をブラックリスト化し、ブロックする仕組みを提供
- 警察から、実際に犯罪や攻撃に使われたとみられる電話番号・URLのデータ提供を受けており、当社の強みの1つ
- 利用者が多くなるほどデータが蓄積され、データベースの精度が高まる循環システムを確立



## サービス内容

- 迷惑情報フィルタ事業は「モバイル向け」・「固定電話向け」・「ビジネスフォン向け」の3つのサービスを展開し、電話を全方位からカバー

### モバイル向け



280

blocker

- 主に通信キャリアのアプリとして提供
- 迷惑電話、迷惑SMSをブロック
- 不快な広告をブロック

### 固定電話向け



- 外付け型、機器内蔵、ネットワーク網まで様々なタイプでサービス展開
- 不要な営業電話や詐欺電話をブロック

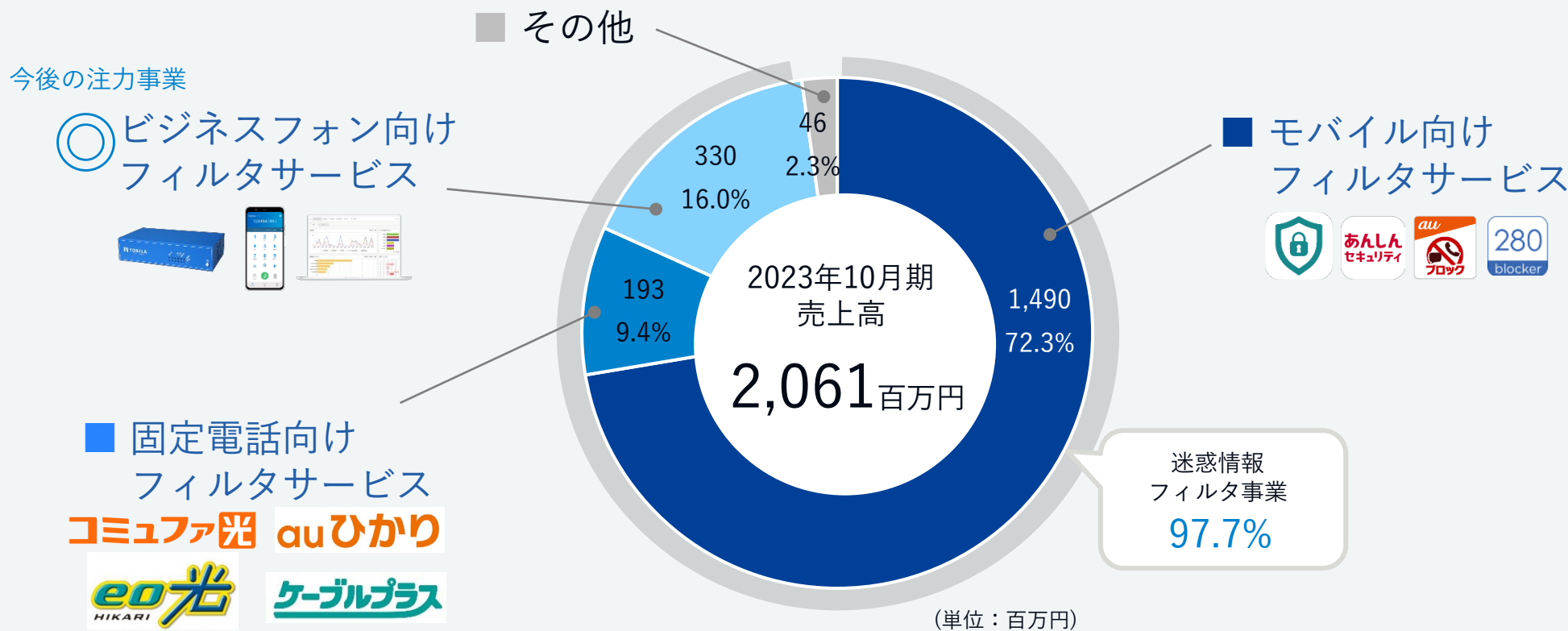
### ビジネスフォン向け



- 法人向けサービス
- 電話業務の効率化やDXを促進

## 事業セグメント（2023年10月期通期）

- 主力事業は、迷惑情報フィルタ事業であり、中でもモバイル向けフィルタサービスの売上が72.3%を占める
- モバイル向けの安定収益を基盤に、成長分野であるビジネスフォン向けフィルタサービスへ注力

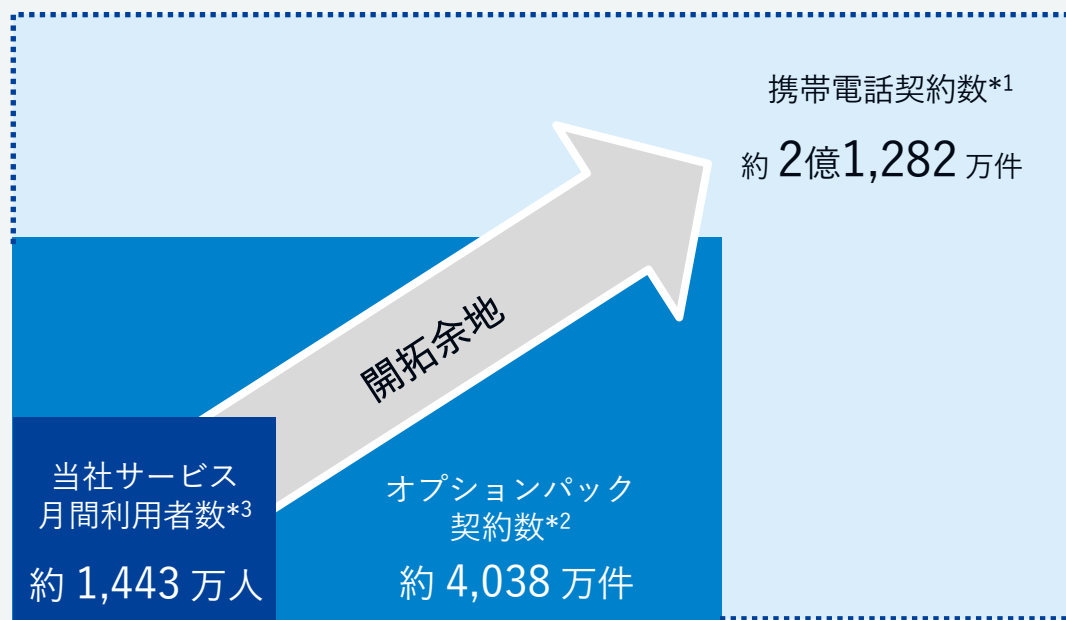


モバイル向け

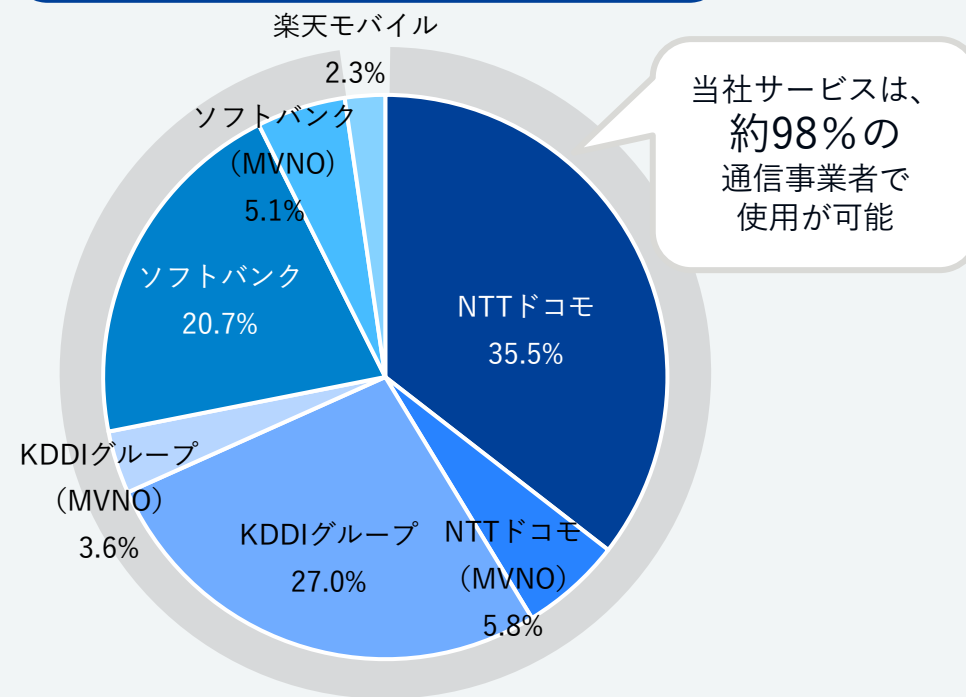
# モバイル向けに関するマーケット

- 現在、追加で料金を支払うことなく当社サービスを利用できるユーザーは約4,038万人以上
- 大手通信キャリアに当社サービスを提供しており、サービス利用に向けた効果的な活動が可能

潜在市場規模



モバイル回線企業別シェア状況



\*1：総務省「電気通信サービスの契約数及びシェア」四半期データ（2023年9月22日公表）

\*2：ソフトバンクは当社把握データ、auはKDDI株式会社公表の2024年3月期 第2四半期決算詳細資料よりスマートパスプレミアム契約数、NTTドコモは2018年12月19日公表のオプション契約者数より当社推定。

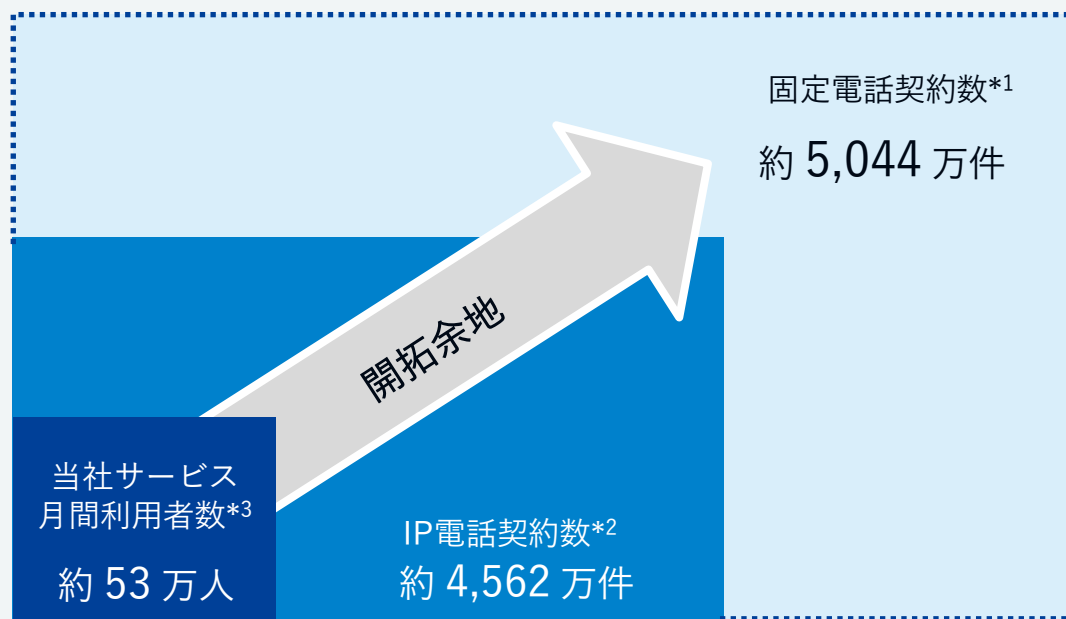
\*3：2023年10月31日時点。一部暫定値が含まれております。今後確定値が反映された場合に、多少の増減が発生する可能性があります。

## 固定電話向け

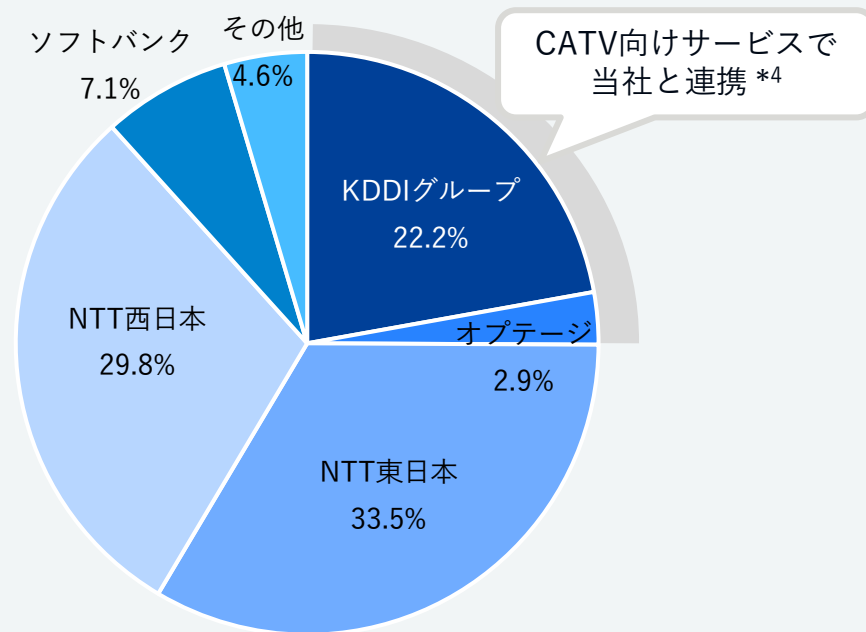
## 固定電話向けに関するマーケット

- 2025年頃にNTT東日本およびNTT西日本の固定電話用信号交換機が維持限界を迎えるとされており、固定電話回線からIP電話への移行需要が増加するため、当社にとって成長機会と捉えている

## 潜在市場規模



## 固定電話回線企業別シェア状況



\*1、\*2：総務省「電気通信サービスの契約数及びシェア」四半期データ（2023年9月22日公表）

\*3：2023年10月31日時点。一部暫定値が含まれております。今後確定値が反映された場合に、多少の増減が発生する可能性があります。

\*4：プレスリリース「国内初、専用機器不要で固定電話への迷惑電話を自動遮断する「迷惑電話自動ブロック」を提供」

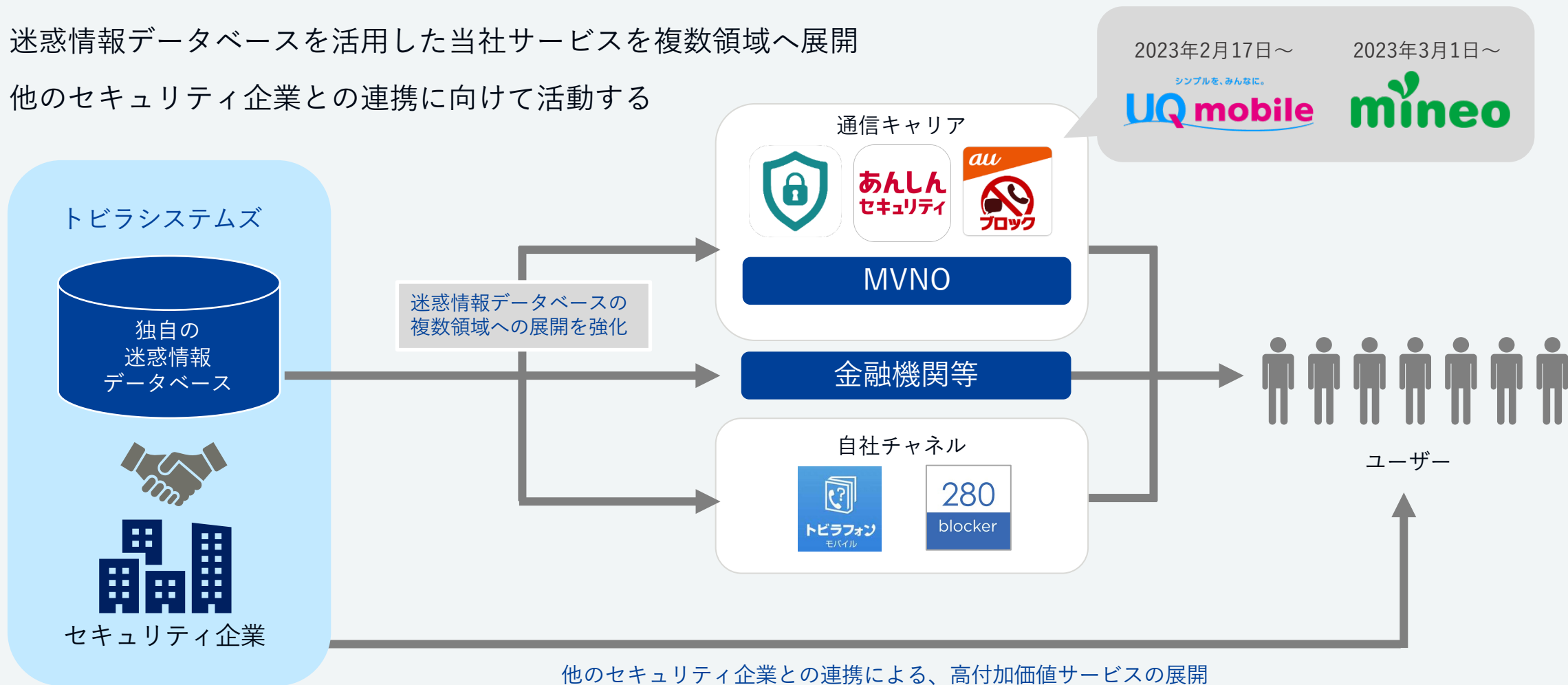
02

2023年10月期第4四半期トピック

モバイル向け

# 2023年10月期の主な取り組み

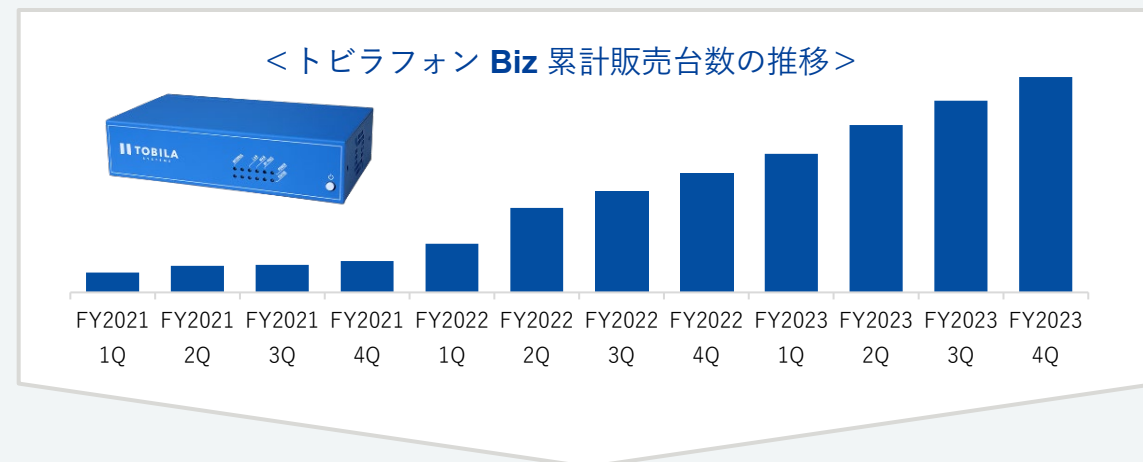
- 迷惑情報データベースを活用した当社サービスを複数領域へ展開
- 他のセキュリティ企業との連携に向けて活動する



## ビジネスフォン向け

## 2023年10月期の主な取り組み

- 「どこからでも簡単に、業務上のコミュニケーションをとれるようにしたい」というニーズから、「コミュニケーションを可視化したい」というニーズへと変化していると考えており、PMF\*を継続する



共通したニーズ：「コミュニケーションの可視化」  
 (例：音声コミュニケーションをテキストで残す、音声コミュニケーションの量により稼働負荷を把握する)

継続したニーズ把握・ニーズに対応した機能実装・販売方法の強化

\*：PMF（プロダクト マーケット フィット）：商品やサービスが市場に適切に受け入れられている状態を指す言葉



## ビジネスフォン向け

## — 海外からの迷惑電話の急増に対応

- 海外からの迷惑電話を国別に一括でブロックする新機能を、2023年9月7日より「トビラフォン Biz」、9月13日より「トビラフォン Cloud」で提供開始



## 海外からの迷惑電話対策強化施策



- NTT東日本と協業し、「トビラフォン Biz」の提供価格について、2024年3月31日までの利用を前提とした割安なプランを用意
- 現に海外からの迷惑電話によって業務に著しい影響が出ている自治体等のお客さまには、2024年3月31日まで無償で提供

\*1: プレスリリース「海外からの迷惑電話をまとめてブロック 法人向けクラウド型ビジネスフォン「トビラフォン Cloud」で海外電話を国別一括拒否する新機能を提供開始」

\*2: プレスリリース「海外からの迷惑電話に対する対策強化 迷惑電話対策「トビラフォン Biz」を期間限定で自治体に無償提供」

## ビジネスフォン向け

## 「トビラフォン Cloud」が口コミをもとにした表彰において各部門で受賞

- 「ITreview Grid Award 2023 Fall」の3部門で、最高位の「Leader」を7期連続受賞\*1
- 「BOXIL SaaS AWARD Winter 2023」のPBX部門で「Good Service」ほか4つのNo.1に選出\*2



## ITreview Grid Award



- 製品利用者の評価をもとに顧客満足度の高い製品を選定する「ITreview Grid Award 2023 Fall」のクラウドPBX部門、IVR（自動音声応答）部門、IP電話アプリ部門の3部門で、最高位の「Leader」を受賞
- 3部門で7期連続の「Leader」獲得

## BOXIL SaaS AWARD



- 「BOXIL SaaS AWARD」は、SaaS比較サイト「BOXIL SaaS」を運営するスマートキャンプが、優れたSaaSを審査、選考、表彰するイベント
- PBX部門の「Good Service」のほか、「機能満足度No.1」、「カスタマイズ性No.1」、「お役立ち度No.1」、「使いやすさNo.1」を受賞

\*1：プレスリリース「トビラフォン Cloud」が、ITreview Grid Award 2023 FallのPBX・IVR（自動音声応答）・IP電話アプリの3部門で「Leader」を7期連続受賞

\*2：プレスリリース「トビラフォン Cloud」、「BOXIL SaaS AWARD Winter 2023」PBX部門で「Good Service」ほか4つのNo.1に選出

03

2023年10月期 業績

## 2023年10月期 第4四半期業績サマリー

- 前年同期比では、売上高・各利益において120%以上の成長となり、四半期売上高としては過去最高
- 純利益は、ホームページ制作運営支援事業「HP4U」の事業譲渡による特別利益計上により、前年同期比226.2%となった

(単位：百万円)	2022年10月期 4Q（前年同期）	2023年10月期 3Q（前四半期）	2023年10月期 4Q実績	前年同期比	前四半期比
売上高	430	520	531	123.3%	102.2%
EBITDA*	166	213	212	128.2%	99.6%
営業利益	124	164	161	129.6%	98.3%
経常利益	124	163	159	127.7%	97.5%
純利益	77	106	175	226.2%	164.1%

\*：EBITDAは「営業利益+減価償却費+のれん償却額」にて算出

## 2023年10月期 第4四半期 サービス別売上内訳

- モバイル向けでは、想定していたストック収益に加え、280blockerの売上が好調であり着実に成長
- 固定電話向けでは、KDDIのケーブルプラス電話向けオプションサービスの契約件数が引き続き増加
- ビジネスフォン向けでは、トビラフォン Bizの販売が概ね計画どおりに推移し、順調に成長

(単位：百万円)	2022年10月期 4Q（前年同期）	2023年10月期 3Q（前四半期）	2023年10月期 4Q実績	前年同期比	前四半期比
<迷惑情報フィルタ事業>	415	509	523	126.0%	102.7%
モバイル向け	314	371	378	120.4%	102.0%
固定電話向け	41	50	50	122.0%	99.5%
ビジネスフォン向け	59	87	93	158.0%	107.8%
<その他の事業>*	15	10	7	51.7%	75.3%

\*：<その他の事業>については、今後は積極的に展開しない方針

## 2023年10月期 業績サマリー

- 売上高・各利益において、前期比120%以上の成長となり、計画比においても、期首計画を上回っての着地
- 純利益は、ホームページ制作運営支援事業「HP4U」の事業譲渡による特別利益計上により大幅に増加

	2022年10月期 (前期)	2023年10月期 計画	2023年10月期 実績	前期比	計画比
(単位：百万円)					
売上高	1,681	2,000	2,061	122.6%	103.1%
EBITDA*	693	786	870	125.5%	110.7%
営業利益	540	600	682	126.3%	113.8%
経常利益	532	599	679	127.6%	113.4%
純利益	322	394	517	160.8%	131.4%

\*：EBITDAは「営業利益+減価償却費+のれん償却額」にて算出

## 2023年10月期 サービス別売上内訳

- 迷惑情報フィルタ事業のすべてのサービスで、前期比を上回っての着地
- ビジネスフォン向けは、計画比99.7%となったが、前期比では179.6%と大きく伸長

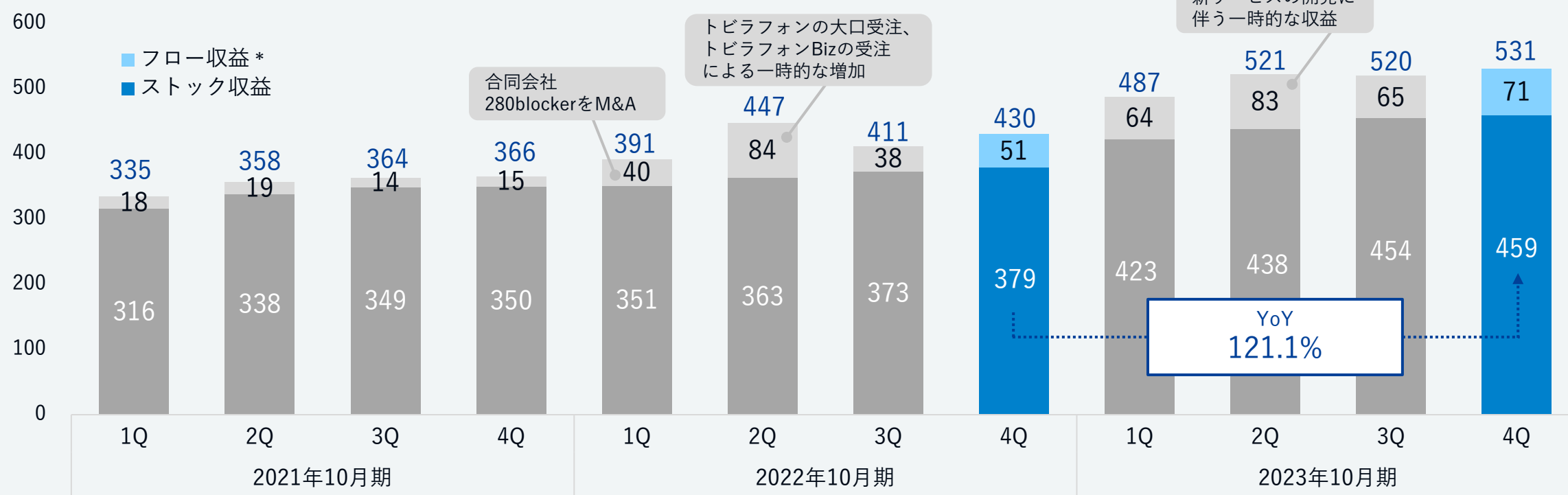
(単位：百万円)	2022年10月期 (前期)	2023年10月期 計画	2023年10月期 実績	前期比	計画比
<迷惑情報フィルタ事業>	1,621	1,953	2,014	124.3%	103.1%
モバイル向け	1,271	1,447	1,490	117.2%	102.9%
固定電話向け	165	174	193	117.0%	111.2%
ビジネスフォン向け	184	331	330	179.6%	99.7%
<その他の事業>*	60	46	46	76.8%	100.3%

\*：<その他の事業>については、今後は積極的に展開しない方針

## 売上高四半期推移（ストック収益、フロー収益）

- 売上高は主にストック収益で構成されており、ストック収益は前年同期比121.1%と着実に成長
- フロー収益には、280blockerの売上、トビラフォン及びトビラフォンBizの端末代金等を含む

(単位：百万円)



\*：フロー収益は、280blockerの売上、トビラフォン及びトビラフォンBizの端末代金等を含む



## モバイル向けフィルタの主な契約モデル\*

- 大手通信キャリアのオプションパックに当社サービスを組み込み、3種類の契約モデルをそれぞれ締結
- 通信キャリアを通じて販売するため、当社はアプリの精度向上に注力することが可能

### 固定契約

契約者数や月間利用者数の変動に影響を受けない、契約金額固定のモデル

### 固定契約 (定額契約)

- 毎月定額でサービス提供
- 契約者数、月間利用者数の変動に影響を受けないため、安定した収益を確保

### 契約者×単価

当社サービスが利用可能なオプションパックの契約者数に連動する契約

### 契約者数 × 単価

- 格安スマホ等へ移行する流れによりオプションパック契約者数は減少傾向
- 当社サービス利用者数は増加傾向

### 月間利用者数×単価

当社サービスの月間利用者数に連動する契約

### 月間利用者数 × 単価

- 当社サービスの月間利用者数については、注視する状況ではあるが、サービス利用に向けた効果的な活動が取りやすい形態

\* : IR note 「<モバイル向けフィルタサービス>契約モデルの違いは？」 <https://note.com/tobila4441/n/n71f22dbaab6d>

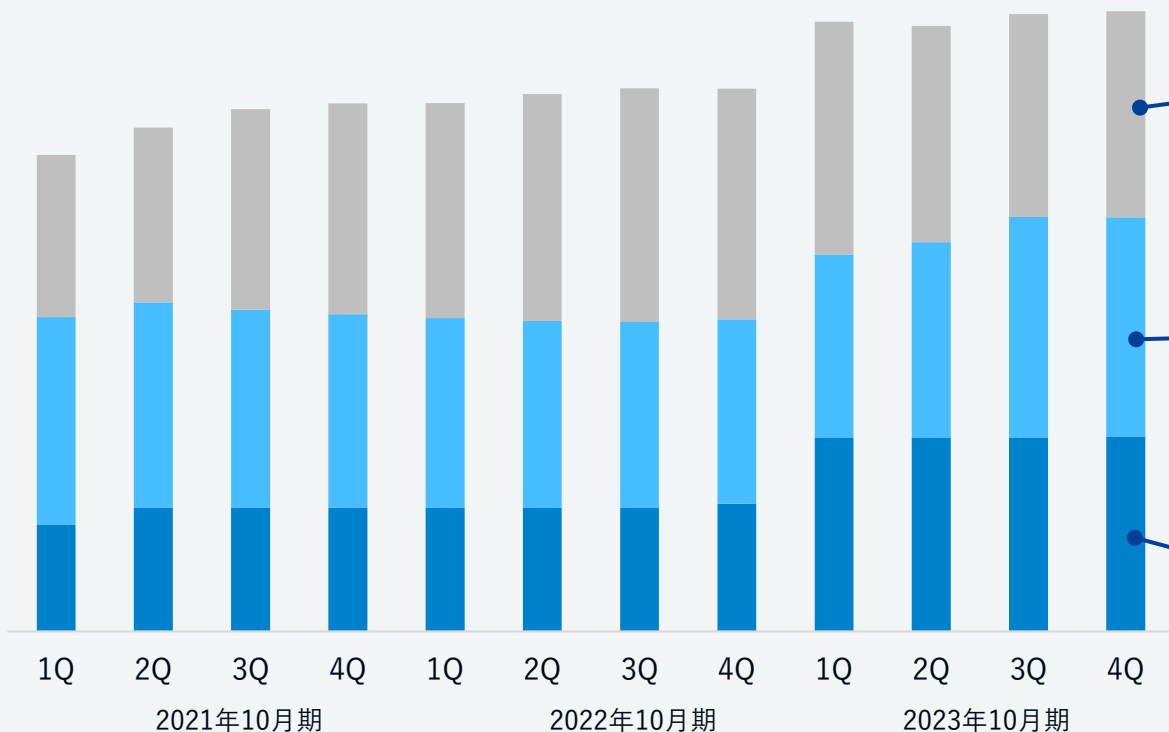
# モバイル向けフィルタの主な契約モデル別の四半期推移

- 「月間利用者数×単価」モデルについて、第4四半期に通信キャリアと連携し、利用者拡充に向けた施策を行ったことにより月間利用者数は増加

主な契約モデルの売上構成（四半期推移）\*

売上高・月間利用者数の推移（前四半期比）

2023年3Qと2023年4Qの売上高および月間利用者数を比較



● 「月間利用者数×単価」モデル

売上高 : 101.6%  
月間利用者数 : 102.2%

通信キャリアと連携し  
 施策を実施

● 「契約者数×単価」モデル

売上高 : 99.5%  
 月間利用者数 : —%

アプリの切替期間で  
 重複利用者数の調整が困難  
 比較情報に適さないため不掲載

● 「固定契約（定額契約）」モデル

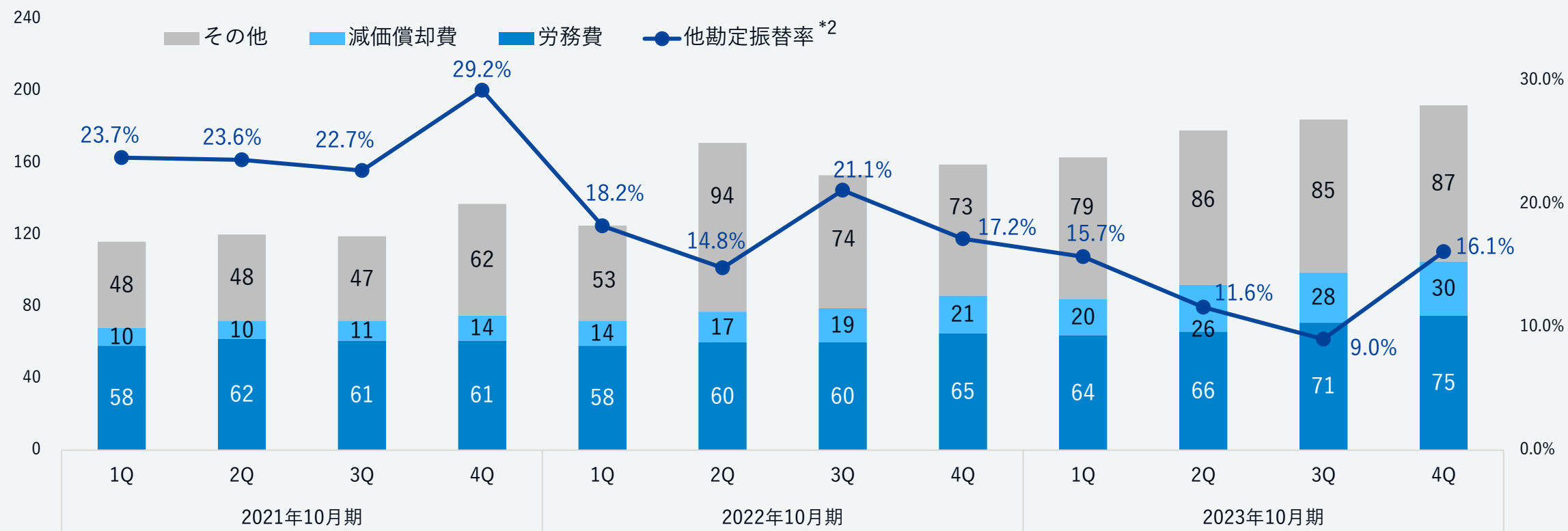
売上高 : 100.4%  
 月間利用者数 : 95.3%

\*：売上高、月間利用者数共に、3大通信キャリアの契約のみ対象。格安スマホ等MVNOの契約は数値に含んでおりません。

## 売上原価の推移

- 売上原価全体\*<sup>1</sup>では、概ね計画どおりにコントロール
- 労務費の増加はエンジニア採用によるものであり、減価償却費の増加は新規サービス開始によるもの

(単位：百万円)



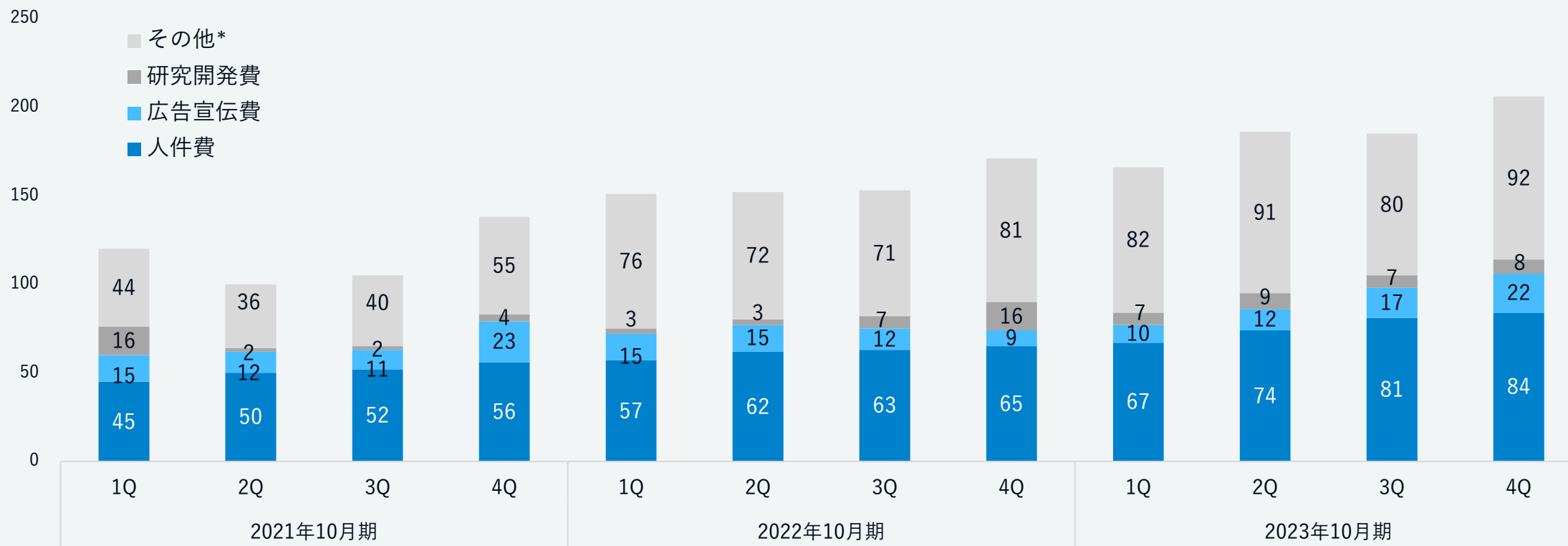
\*1：労務費、減価償却費、その他の合計は、他勘定振替や仕掛品振替の調整前であり、財務諸表の売上原価合計とは異なる

\*2：他勘定振替率とは、売上原価のうち、主に従業員の活動内容の種類から、研究開発費及び資産等に計上された割合

## 販管費の推移

- 販管費全体では、計画どおりにコントロール
- 第4四半期では積極的な採用や東京オフィスの移転等、成長に向けた投資を実施したことで各費用が想定どおりの増加

(単位：百万円)

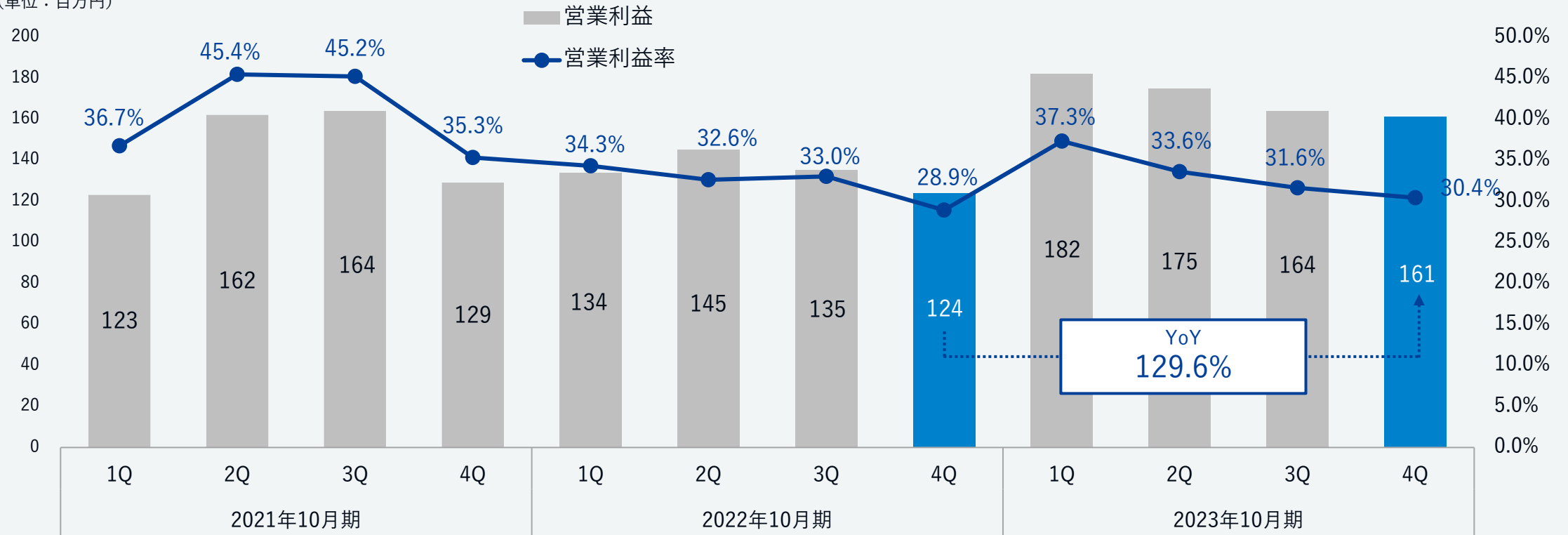


\*：「その他」に含まれるものは、のれん償却額や減価償却費、支払手数料等

## 営業利益の推移

- 第4四半期は人材採用や東京オフィスの移転等により、想定していたとおり第3四半期より営業利益は縮小
- 通期累計では6億8,200万円となり、前期比でも計画対比でも上回って着地

(単位：百万円)



## コスト推移（四半期）

(単位：百万円)	2022年10月期 4Q（前年同期）	2023年10月期 3Q（前四半期）	2023年10月期 4Q実績	前年同期比	前四半期比
売上原価	133	169	162	121.7%	95.9%
（労務費）	65	71	75	115.3%	106.4%
（減価償却費）	21	28	30	140.5%	104.1%
（その他）	73	85	87	119.0%	102.1%
（開発分の他勘定振替率*）	17.2%	9.0%	16.1%	▲1.1pt	+ 7.1pt
販売費及び一般管理費	173	186	207	120.1%	111.3%
（人件費）	65	81	84	128.5%	103.7%
（広告宣伝費）	9	17	22	242.3%	130.8%
（研究開発費）	16	7	8	49.2%	111.1%
（その他）	81	80	92	113.4%	114.9%

\*：売上原価のうち、主に従業員の活動内容の種類から、研究開発費及び資産等に計上された割合

## コスト推移（通期）

(単位：百万円)	2022年10月期 (前年)	2023年10月期 計画	2023年10月期 実績	前期比	計画比
売上原価	505	643	628	124.2%	97.7%
（労務費）	245	310	278	113.3%	89.7%
（減価償却費）	72	106	105	145.4%	99.8%
（その他）	296	382	339	114.6%	88.7%
（開発分の他勘定振替率*）	17.7%	19.5%	13.1%	▲4.6pt	▲6.4pt
販売費及び一般管理費	634	757	750	118.1%	99.0%
（人件費）	250	309	308	123.4%	99.8%
（広告宣伝費）	52	60	63	119.8%	103.8%
（研究開発費）	30	37	31	104.9%	83.8%
（その他）	301	349	346	114.8%	99.1%

\*：売上原価のうち、主に従業員の活動内容の種類から、研究開発費及び資産等に計上された割合

## BS推移

(単位：百万円)	2022年10月期 (前年)	2023年10月期	増減額
流動資産	1,836	2,816	979
現金及び預金	1,435	2,404	968
売上債権及び契約資産	251	254	2
その他	148	156	7
固定資産	830	830	0
有形固定資産	58	103	45
無形固定資産	476	405	▲ 71
投資その他の資産	296	322	26
総資産	2,667	3,646	979
負債	956	1,510	553
流動負債	710	1,314	603
固定負債	245	195	▲ 50
純資産	1,710	2,136	426
自己資本比率	64.1%	58.6%	▲ 5.5pt



## 株主還元

## 2023年10月期期末配当

- 2023年10月期の1株あたりの配当金については、2023年11月30日公表の予想どおり17円00銭に決定
- 2023年10月期の業績と当社の配当性向35%の方針を踏まえ、株主の皆様への還元を実施

配当性向  
**35%**

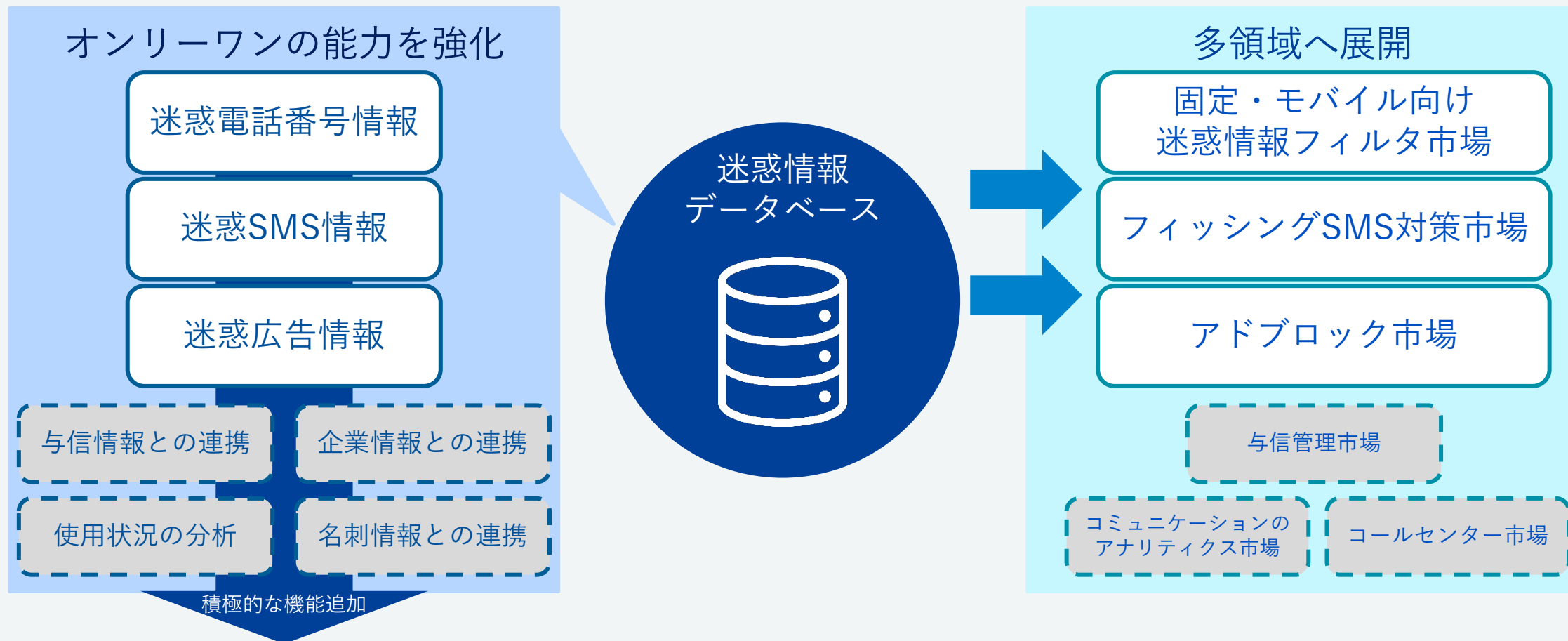
株主の皆様に対する利益還元を  
経営の重要な課題の1つと位置付け、  
財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な  
内部留保を勘案しています

	当初 配当予想	1株当たり配当金 (期末)
2022年10月期	11円10銭	10円60銭
2023年10月期	12円90銭	<b>17円00銭</b>

# 04 | 2024年10月期見通し

# トビラシステムズの成長戦略

- 成長戦略は、唯一無二の迷惑情報データベースの価値を向上させ、その強みが発揮できる市場へ展開すること



## 2024年10月期の業績見通し

- 成長戦略に向けた投資と成長を両立させ、2024年10月期も売上高23億5,000万円、営業利益7億5,500万円となる見通し
- 純利益については、2023年10月期において特別利益を計上しており、その要因を除くと増益となる見通し

(単位：百万円)	2022年10月期 実績	2023年10月期 実績	2024年10月期 見通し	前期比
売上高	1,681	2,061	2,350	114.0%
EBITDA*1	693	870	941	108.1%
営業利益	540	682	755	110.6%
経常利益	532	679	754	111.0%
当期純利益	322	517	500	96.6%
(特別損益を除いた場合の当期純利益)	(350)	(469)	(500)	(106.4%)
営業利益率	32.2%	33.1%	32.1%	-
ROE *2	20.1%	26.9%	22.5%	-
自己資本比率	64.1%	58.6%	56.4%	-

\*1：EBITDAは「営業利益+減価償却費+のれん償却額」にて算出

\*2：ROEの分母となる自己資本は期中平均を用いて計算

## 2024年10月期のサービス別 売上見通し

- 迷惑情報フィルタ事業のすべてのサービスにおいて、2024年10月期も堅調に成長する見通し
- ビジネスフォン向けフィルタサービスにおいては、さらなる成長を目指す

(単位：百万円)	2022年10月期 実績	2023年10月期 実績	2024年10月期 見通し	前期比
<迷惑情報フィルタ事業>	1,621	2,014	2,343	116.3%
モバイル向け	1,271	1,490	1,551	104.1%
固定電話向け	165	193	213	110.1%
ビジネスフォン向け	184	330	579	175.1%
<その他の事業>*	60	46	6	35.3%

\*： <その他の事業>に含まれていた「HP4U」事業は2023年9月30日付で譲渡済。2024年10月期は受託開発に係る売上高のみを計上予定

## 2024年10月期のコストに関する見通し

- 【売上原価】 2023年10月期の増員による労務費の増加、トビラフォンBizの販売増加に伴う端末代等の増加
- 【販管費】 2023年10月期の増員による人件費の増加、採用活動費用や販促費用の増加

(単位：百万円)	2022年10月期 実績	2023年10月期 実績	2024年10月期 見通し	前期比
売上原価	505	628	712	113.3%
（労務費）	245	278	320	115.4%
（減価償却費）	72	105	99	93.8%
（その他）	296	339	406	153.6%
（開発分の他勘定振替率*）	17.7%	13.1%	13.9%	0.8pt
販売費及び一般管理費	634	748	883	117.7%
（人件費）	250	308	372	120.6%
（広告宣伝費）	52	63	79	125.9%
（研究開発費）	30	31	37	117.3%
（その他）	301	344	391	113.7%

## 【2024年10月期】直近の動向

- モバイル向け、ビジネスフォン向けの単価アップにより、収益の増加を想定

モバイル向け

「固定契約」\*1モデルにおける単価アップ

固定契約  
(定額契約)

- 2023年12月より、契約更改により、「固定契約」モデルの契約金額を引き上げ
- 第1四半期では、単価アップの売上寄与は2か月分

ビジネスフォン向け

「トビラフォン Biz」の単価アップ



トビラフォン Biz

- 2023年11月より、端末販売価格を引き上げ
- 今後の販売で主にフロー収益へと寄与する見込み\*2

\*1：「固定契約」：契約者数や月間利用者数の変動に影響を受けない、契約金額固定のモデル

\*2：IR note 「「トビラフォン Biz」の収益構造を解説！」 <https://note.com/tobila4441/n/n50a4deeb6e12>

## 中期経営計画最終年度（2024年10月期）目標を修正

- 2023年より増収増益で成長する見通しであるものの、2021年に策定した中期経営計画の最終年度としての目標数値には届かない見込みとなったため修正を実施

(単位：百万円)	2023年10月期 実績	中期経営計画 2024年10月期	2024年10月期 見通し	中計・ 2024年10月期 見通し比	見直しの主な要因
売上高合計	2,061	2,510	2,350	93.6%	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネスフォン向けの成長スピードが、計画を下回っての推移となったため</li> </ul>
<迷惑情報フィルタ事業>	2,014	2,460	2,343	95.3%	
モバイル向け	1,490	1,290	1,551	120.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>大手キャリア向けの契約拡充や単価上昇などによる収益増加や、MVNO等のサービス提供先を拡大したため</li> </ul>
固定電話向け	193	219	213	97.4%	<ul style="list-style-type: none"> <li>概ね想定どおりの推移</li> </ul>
ビジネスフォン向け	330	951	579	60.9%	<ul style="list-style-type: none"> <li>トビラフォン Bizの販売台数は着実に増加</li> <li>トビラフォン Cloud・Talk Bookの販売は増加しているものの、中計策定時点の想定販売数を下回っている</li> </ul>
<その他の事業>	46	50	6	12.9%	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ制作運営支援事業「HP4U」の事業譲渡により、売上高が減少するため</li> </ul>
営業利益	682	1,186	755	63.7%	<ul style="list-style-type: none"> <li>中長期的な成長に向けて、人的資本への投資等を増加させるため</li> </ul>



## 株主還元

## — 自己株式の取得・配当予想

- 役職員への譲渡制限付株式報酬の付与を主な目的として、自己株式の取得について決議
- 2024年10月期の業績見通しと当社の配当性向35%の方針を踏まえ、2024年10月期配当予想は17円00銭の見通し

## 自己株式の取得

取得対象株式種類	普通株式
取得する株式総数	200,000株（上限） （発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合 1.89%）
価格	2023年12月8日（金）の終値
取得日時	2023年12月11日（月）8:45
取得方法	ToSTNeT-3取引

## 2024年10月期配当予想

1株当たり配当金（期末）  
**17円00銭**

05

サステナビリティレポート

# トビラシシステムズ サステナビリティレポートを公開

- サステナビリティレポートにおいて、当社のサステナビリティやESGの考え方、ビジネスを通じた社会貢献への取り組み、活動実績について記載



## トビラシステムズのマテリアリティ

## 企業活動を通じた社会課題への取り組み

## 事業を通じた社会課題解決に向けた貢献

Environment  
環境

## ① 気候変動への対応

ビジネスを推進するためには、電力や資材など、様々な地球資源が必要不可欠です。当社は、気候変動への対応を行い、脱炭素化に貢献します

Social  
社会

## ② 失敗を恐れず挑戦する場の実現

当社の基盤は、一緒に働くメンバーです。メンバーの働きやすさを追求するだけでなく、働きがいのある場を実現します

Governance  
ガバナンス

## ③ コーポレートガバナンスの充実

持続的な企業価値向上のためには、経営が透明・公正かつ迅速・果敢な意思決定できるコーポレートガバナンス体制の充実が不可欠です



## ④ 特許詐欺犯罪・グレーゾーン犯罪を0に！

「迷惑行為で悲しむ人をなくし、誰もが安心して生活できる社会を実現する。」この想いは創業当時から変わらない私たちの使命です。詐欺犯罪やグレーゾーン犯罪の被害ゼロを目指して事業を推進してまいります。

当社では人々が「迷惑・不快」と感じ、「安心・安全」を脅かされる行為を『グレーゾーン犯罪』と呼んでおります。このグレーゾーン犯罪を含めた特殊詐欺犯罪の被害額は、日本全体で約4兆円と推定\*1されます。昨今、全国で発生した特殊詐欺の被害額は増加傾向にあり、その認知件数も増加\*2しております。また近年、スマートフォンや携帯電話のショートメッセージサービス、いわゆるSMSを悪用し、個人情報抜き取るフィッシングや振り込め詐欺の被害につきましても、増加傾向であり各事業者における対応コストも増加するなど、社会問題化しております。

ウイルス対策やファイアウォールなど、コンピューターを守るセキュリティは進歩を続けているものの、「人の行動の弱み」を利用した犯罪の被害は後を絶ちません



\*1：消費者庁調べ 令和2年版消費者白書より（95%の確率で、3.5～4兆円と推計される）

\*2：警察庁「令和4年における特殊詐欺の認知・検挙状況等について（確定版）」

# 価値創造プロセス



## — ディスクレーマー —

2024年10月期 第1四半期決算発表は、2024年3月8日（金）16時以降を予定しております。

本決算発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

■ お問い合わせ先  
トビラシステムズ株式会社 IR担当  
E-mail [ir@tobila.com](mailto:ir@tobila.com)  
HPお問い合わせ <https://tobila.com/contact/>

# Appendix

## 2023年10月期 オンライン決算説明会のご案内

- Zoomウェビナーを利用したオンライン配信にて決算説明会を開催いたします

開催日時	2023年12月8日（金）18時30分～19時30分
開催方法	Zoom ウェビナーを利用したオンライン・ライブ配信
当社説明者	代表取締役社長 明田 篤 執行役員CFO 金町 憲優
参加対象者	どなたでもご参加可能です。
内容	決算説明（30分）、質疑応答（30分）
参加申込方法	下記フォーム、またはQRコードよりお申込みください。 <a href="https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_dviLI7dZRxajQY5MS716gA">https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_dviLI7dZRxajQY5MS716gA</a>





## お知らせ

- 個人投資家の皆様へ向けて説明会の実施や、noteにてIR情報の発信を行っております

### 個人投資家向け説明会

開催日時	2023年12月16日（土）13時10分～18時 （当社は、13:45～14:25登壇予定）
開催方法	オフライン （株式会社ヴィス 東京オフィスにて開催）
当社説明者	代表取締役社長 明田 篤 執行役員CFO 金町 憲優
参加申込方法	下記よりお申込みください。 <a href="https://twipla.jp/events/582015">https://twipla.jp/events/582015</a>

### noteを活用したIR情報の発信



決算に関する情報や、株主・投資家の皆さまからいただくご質問についての解説等、noteにて定期的に発信。  
[「IR noteマガジン」](#)にも参画しています。

note

<https://note.com/tobila4441>



## 過去の財務状況 四半期業績推移

(単位：百万円)	2020年10月期				2021年10月期				2022年10月期				2023年10月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上	270	319	312	331	335	358	364	366	391	447	411	430	487	521	520	531
(迷惑情報 フィルタ事業)	244	295	290	312	316	335	344	349	377	430	397	415	471	510	509	523
(その他事業)	26	23	22	19	19	22	19	17	14	16	14	15	16	11	10	7
売上原価	77	82	78	83	89	92	92	97	103	147	121	133	138	158	169	162
(労務費)	54	53	54	55	58	62	61	61	58	60	60	65	64	66	71	75
(減価償却費)	11	10	10	12	10	10	11	14	14	17	19	21	20	26	28	30
(その他)	31	42	37	45	48	48	47	62	53	94	74	73	79	86	85	87
(開発分の 他勘定振替率*1)	20.1%	22.5%	22.6%	28.5%	23.7%	23.6%	22.7%	29.2%	18.2%	14.8%	21.1%	17.2%	15.7%	11.6%	9.0%	16.1%
販管費	93	94	99	126	122	102	106	139	153	154	154	173	167	188	186	207
(人件費)	41	42	44	44	45	50	52	56	57	62	63	65	67	74	81	84
(広告宣伝費)	0	11	14	29	15	12	11	23	15	15	12	9	10	12	17	22
(研究開発費)	8	7	10	17	16	2	2	4	3	3	7	16	7	9	7	8
(その他)	42	32	31	35	44	36	40	55	76	72	71	81	82	91	80	92

## 過去のサービス別 売上高四半期推移

	2020年10月期				2021年10月期				2022年10月期				2023年10月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
(単位：百万円)																
<迷惑情報フィルタ事業>	244	295	290	312	316	335	344	349	377	430	397	415	471	510	509	523
モバイル向け	211	247	248	259	265	281	290	295	311	331	313	314	361	378	371	378
固定電話向け	27	42	33	43	38	37	37	34	34	51	38	41	44	47	50	50
ビジネスフォン向け	4	5	7	9	11	17	16	20	31	48	44	59	65	84	87	93
<その他の事業>	26	23	22	19	19	22	19	17	14	16	14	15	16	11	10	7

